

事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

施設長	副施設長				係長	担当

フリガナ	●●●●	男 <input checked="" type="radio"/> 女 <input type="radio"/>	要介護3	移動	<input type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input type="checkbox"/> 車椅子 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (付き添い・見守り)
本人氏名	●●●●様	101歳			
報告者	●●●●			発生(発見)日時	平成28年09月10日(土) 20:00 分頃

場所	<input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 拠点707 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他 ()
----	---

状況	<input type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (興奮状態時に職員を蹴る等の行為)
----	---

9月9日(金)の夕方から左大腿部の痛みがでており経過を見ていた。痛みが治まらず9月10日(土)に受診する。受診の結果、左鼠蹊部の骨折との診断がある。

「施設内連絡」
 9月10日 21:45 ●●●主任(リスク委員会)へ詳細報告する。
 22:20 施設長へ詳細報告する。
 9月11日 13:15 副施設長へ詳細報告する。

症状	<input type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> 擦過 <input type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input checked="" type="checkbox"/> その他(痛み)	部位	左大腿部
----	---	----	------

左大腿部、股関節付近の痛み訴え有り。

対応	<input type="checkbox"/> 様子観察 <input type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 止血 <input checked="" type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他 ()
	待機医務対応にて受診となる。 受診結果：出張医より～左鼠蹊部の骨折と思われる。整形外科ではないのではっきりわからないが、折れているとの結果により入院となる。

バイタルサイン	体温	36.9℃	血压	105 / 72 mmHg	脈拍	75 回/分	SP02	%	計測時間	11日 9:10
---------	----	-------	----	---------------	----	--------	------	---	------	----------

要因・原因	<input type="checkbox"/> 見守り不足 <input type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (興奮状態時に職員を蹴る等の行為)
-------	---

転倒の事実はなく、どの動作で骨折に至ったかは不明。9月8日の夜間帯から興奮状態見られ、ご自分で筆筒を動かそうとされたり、ベッドを引っ張ったりされる等、下肢に力が掛かる動作が見られていた。9月9日にも夕食時に居室のベッドで横になり、大声で泣き叫び夕食摂取されていない状況見られていた。また、トイレ内で両手を振り回し職員を叩き蹴飛ばし、大声で叫びながら職員の右腕を思い切りつねっている行動や前かがみになりトイレからずり落ちしそうな状況があったことから、職員は体を支えるなどの介助を行った。その後興奮しながら前かがみの状態でトイレから出たが、本人の右側に付き添いしている職員を突然蹴とばした。転ぶ危険性があった為、あと数歩で居室ではあったが本人を抱きかかえ、お連れしたという経緯がある。自力で床に寝そべり起き上がる際に左の大腿部をベッドや介助バーにぶつけるようにして立ち上がる動作も見られていた。9月10日の日中はトイレ介助時に痛がるも立位は保っていた。このような興奮状態は以前から見られており家族へ施設での行動(興奮状態・攻撃的)は伝わっているが、家族も高齢の為、精神科等の受診に至っていない状況だった。

ご家族より話されている対応により、泣く・攻撃的・興奮状態にて落ち着かない様子が見られている際は、干渉せずに居室内を自由に過ごして頂いていた。どの動作で骨折してしまったかはわからなかった。今後の対応として、家族が受診対応出来ないのであれば、担当ケアマネの協力を得て受診して頂くよう、相談員より働きかける。

加ファリスの必要性について	<input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要
---------------	--

家族への説明	平成28年09月11日(日)	説明方法	<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話	説明職員	●●●●
	家族氏名	●●●●様	続柄	姪	

ショートステイ利用中の不穏状態、暴言、暴力行為と左鼠蹊部骨折に至った経緯をお電話にてお伝えし謝罪する。ご家族状況把握していた様子で「本人床に寝ていたり、夜中に色々動かしたりしていたんでしょ。皆さんが見れていなかった時に何か転んだかぶつけたんだと思います。そちらは何も落ち度は無いので気にしないで下さい。それ以上に見てもらっているんだから。」と優しくお答えして頂く。